



生活者ネットワーク 国分寺市議会議員

TAKE FREE

# マサーヨがゆく vol.8

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとりが自分らしく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。



Instagramもぜひご覧ください @masayokosaka

## 国分寺発 地球冒険ミッション 冒険の書をつくらう!

Vol.2の地書 地球のつくりかた

天文学者 フレアはかせのおしゃべりワークショップ (萩野正興天文方) 地球のことをいろいろ聞いてちょう!

- 2024/08/17 (土) 18:30~20:00 @ぶんじ寮
- 参加費 おとな¥500 中学生以下¥300
- お名前、連絡先、参加人数(おとな〇名、子ども〇名)を添えてメール(kokubunji@seikatsusha.net)にてお申し込みください。



## 事務所に遊びにいらっしやいませんか?

# マサーヨがきく

ご予約不要!



2024/08/06 (火) 13:00~18:00

おとなも こどもも どなたでもどうぞ。

お気軽におしゃべりしにお立ち寄りください。

西国分寺駅徒歩1分。自転車置き場あります。お待ちしております

お問い合わせフォーム <https://kokubunji.seikatsusha.me/contact/>  
国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103 TEL: 042-328-1864

地域の方のお話をきく小さな会を開きます。お気軽にご参加ください。

「学びの選択枝を子どもと探して」

- 7/10 (水) 10:30~12:00 国分寺・生活者ネットワーク事務所にて
- オンライン併用 ●くわしくは事務所までお問い合わせください。

## 小坂まさ代 暮らしのエッセイ

### 「入道雲とサルスベリの花」

アジサイが盛りを過ぎ、サルスベリの花が咲き始めると「ああ、夏が来たな」と感じる。



13年前の夏は、授乳とおむつ替えの合間にご飯を食べ、沐浴をさせ、赤ちゃんと一緒にうつらうつら眠る日々だった。42才の高齢出産だったこともあり、家事と長女の保育園の送り迎えは週に数回ヘルパーさんをお願いした。布おむつの洗濯やご飯づくり、お風呂の掃除など、とっ散らかった我が家の暮らしを支えてくれた。2人のヘルパーさん無しでは、とてもあの時期を乗り越えることはできなかったらう。

おひとりとはベテランの方で、冷蔵庫にあるもので即座に献立を考え、20分ほどで4~5品ほどおかずをつくってくれた。手際が良いだけではなく、そのどれもがお世辞抜きにおいしかった。もうおひとりは、とてもお若い方だった。聞けば、小学1年生、5歳、3歳の双子、1才半と5人のお子さんがいて、目の回るような毎日だとのこと。同じ保育園に入れず、3つの園を回っていて雨の日は特に大変なのだよと言った。

「おんぶひもと抱っこひもを両方使って、双子をあやしながら鍋を振るうこともありました」と笑った。私は子どもが2人になっただけでこんなにもいっぱいなのに、なんてすごい人!と心の底から尊敬した。5人のお子さんとのエピソードを聞かせてもらうのがとても楽しかった。

産後ヘルパーさんに来てもらえるのは赤ちゃんが3か月になるまでと決まっていた。最後の日には思いがあふれてしまい、嗚咽しながらなんとか感謝の気持ちを伝えようとする私に「そんなに泣かれるとこっちまで涙が出てきてしまう」と言ってくれた。今もお元気で過ごさじらうか。小学1年生だったいちばん上のお子さんは、今年二十歳になるはずだ。

寝室に引きこもり、ただただ同じような毎日を繰り返した夏だった。部屋の窓から見えていたのは、青い空に浮かぶ真っ白な入道雲と、鮮やかなピンク色をしたサルスベリの花。あの花を見ると、布おむつの手触りやおっぱいの匂い、腕の中でずやすずや眠る娘を思い出し、今でも鼻の奥がふんとする。ああ、なんて幸せな夏だったのだろう。

## 小坂まさ代 国分寺の暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、縁もゆかりもなかった国分寺に転居。ふたりの娘に親として育てられている。2021夏、生活者ネットワークから市議補選に立候補し当選。2023春の市議選で再選。現在2期目。厚生文教委員会副委員長、新庁舎建設等特別委員会委員、議会運営委員会委員、湖南衛生組合議会議員。泉町在住。

## 生活者ネットワークの活動

市民の手による市民のための政治の実践を国分寺で約40年に渡って活動している政治団体です。身近な暮らしにある「なぜ?」「どうして?」をみんなで考え活動し、市政・都政へ様々な質問や提案をしています。現在、3人の市議会議員(高瀬かおる、小坂まさ代、松岡まり)と都議会議員(岩永やす代)と一緒に活動中。お話し会、調査活動、学習会など楽しい活動がたくさん! お気軽にのぞいてみてください。

生活者ネットこくぶんじ No.174 小坂まさ代の活動を紹介します  
発行日: 2024年7月1日 発行: 国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者: 田中由紀  
〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103 TEL: 042-328-1864  
FAX: 042-328-1878 ☑ kokubunji@seikatsusha.net <https://kokubunji.seikatsusha.me>



## 国分寺市の学校給食について



小・中学生の給食についてくわしくはこちらへ(市のHP)

## ●2学期が無償化に!

これまで国分寺市は学校給食法の第11条を根拠に「基本的に原材料費は保護者負担とし、無償化は東京都や国に対して求めていく」という見解を示してきました。しかし今年度は東京都が経費の1/2を補助することになり、市民の声の高まりと市議会でも全会派が要望したこともあり、市は無償化の実施を決めました。

なお、食物アレルギー等によりやむを得ず弁当を持参する児童生徒については給食費と同額の補助金が給付される予定です。

マサーヨは、補正予算審査特別委員会で「市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減、子育て支援を目的とするのであれば、公平性の観点から、不登校児童生徒を含め全ての児童生徒を補助の対象とすべき」と、今後の検討を求めました。

また、財政が厳しく来年度以降も都の半額補助が続くのか不透明ななか、給食費の公費負担に踏み切れない自治体もあります。国が責任をもって給食費の無償化をすべきと考えます。

## ●国分寺市の小学校給食

市立小学校給食は自校にある給食室でつくり、現在10校のうち9校で調理業務を民間業者に委託をしています。2025年度までに全校が民間委託される予定です。

献立作成、食材の発注、食材検収、及び味付け等の最終確認は市の栄養士が行い、できあがった給食は校長先生が毎日検食しています。

食物アレルギー食の安全対策については「国分寺市立小学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を定め、細かく対応しています。

食物アレルギー食の安全対策についてくわしくはこちらへ(市のHP)



## ●中学校給食は?

中学校給食は、弁当併用外注方式で、持参弁当と給食の選択制です。

給食は日野市にある事業者が1日に約2,000食を当日調理し各中学校に配送して提供していますが、アレルギー対応はしていません。

昨年11月には、中学校でもアレルギーや宗教、思想上の理由など諸事情を持つ子どもたちを含め全員が給食を食べられることを求める陳情が出され、現在も審査が続いています。

小学校のように温かい食事が提供できるようになるための仕組みを、当事者である中学生や市民、有識者が参加し検討する場が望まれ、市でもまずは庁内で検討委員会を設置する方向です。

## 国分寺市学校給食食材選定基準について

くわしくはこちらへ(市のHP)

どんな食材を選定するか細かく決められています。市のHPに資料があるのでぜひご覧になってください。

